

新規経済システムと環境への対応

黒田インターナショナル

黒田 毅

これら、株式の崩壊と国家財政の崩壊は、新しい経済システムへの転換を予測させる。これらは巨大な資本力と技術力が、新しい経済システムの構築を行うと考える。

これらは零細企業と中小企業が、新規経済基準における新たな市場参加を必要とされるはずであり、これらは未来という新しい現実への参加を要求される。

これらは未来の洗礼と考えて良い。なぜなら、新しい技術文明の到来は現実であり、技術基準と企業内容は、その参加の是非を新しい市場において問われるのである。

グローバル化と世界市場における勝者たちは、その市場を占有できるのである。

これは企業が技術という基盤において、自己の判断を与えられることであり、これらは既存の基準でなく新しい経済システムにおける基準である

これは日本では、企業努力が、その新しい市場における評価を与えられることであり、その判断は、最もシビアであるはずである。

消費者は、その経済システムの崩壊において、所得格差を現実とする。勝者はその先端トレンドを自己に有するのであり、国家が生活保障を与えることは、もしかしたらないのかもしれない。

これはアリとキリギリスという現実が現実において与えられることである。